

平成 20 年 6 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社 ベルーナ  
代表者名 代表取締役社長 安野 清  
(コード番号 9997 東証第 1 部)  
問合せ先 管 理 本 部 長 須藤 滋  
(TEL. 048-771-7753 )

## (訂正)「平成 20 年 3 月期 決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

平成 20 年 5 月 26 日に「平成 20 年 3 月期 決算短信」の一部訂正に関するお知らせについて発表いたしました。記載事項の一部に再訂正がございましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 〔訂正理由〕

①従来、「仕掛不動産」については、「販売用不動産」に含めて表示しておりましたが、今連結会計年度においてその重要性が高まったため、区分掲記することといたしました。

②連結子会社である㈱サンステージの貸付先（㈱ミキシング）が平成 20 年 5 月 16 日付で民事再生法の適用を申請したことに伴い、当該「営業貸付金」を投資その他の資産の「その他」（破産更生等債権）に振り替えることといたしました。

なお、上記債権につきましては、担保により全額保全がなされており、今のところ、回収に伴う損失は発生しない見込みであります。

#### 〔訂正箇所〕

訂正箇所には下線を付しております。

I. 平成20年5月26日発表 (訂正)「平成20年3月期 決算短信」の一部訂正に関するお知らせ  
・9ページ

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

<訂正前>

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年3月31日)		当連結会計年度 (平成20年3月31日)		対前年比	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	増減 (百万円)	
(資産の部)							
I 流動資産							
1. 現金及び預金		28,065		18,612		△9,453	
2. 受取手形及び売掛金		13,868		12,703		△1,165	
3. 営業貸付金		46,591		<u>55,791</u>		<u>9,200</u>	
4. 有価証券		1,376		298		△1,078	
5. たな卸資産							
(1) たな卸資産		10,298		9,598		△699	
(2) 販売用不動産	※1	4,499		<u>10,332</u>		<u>5,832</u>	
たな卸資産合計		14,798		19,930		5,132	
6. 繰延税金資産		878		1,011		132	
7. その他		4,010		6,110		2,099	
貸倒引当金		△1,789		△2,019		△230	
流動資産合計		107,801	72.2	<u>112,440</u>	<u>70.0</u>	<u>4,639</u>	
II 固定資産							
1. 有形固定資産							
(1) 建物及び構築物	※1	17,829		21,041			
減価償却累計額		6,955	10,873	7,671	13,369	2,496	
(2) 機械装置及び運搬具		1,073		1,095			
減価償却累計額		826	246	871	224	△22	
(3) 器具及び備品		998		1,163			
減価償却累計額		644	354	771	391	37	
(4) 土地	※1		13,189		17,604	4,415	
(5) 建設仮勘定			1,426		79	△1,346	
有形固定資産合計			26,089	17.5	31,670	19.7	5,580
2. 無形固定資産			1,589		2,336		746
無形固定資産合計			1,589	1.1	2,336	1.4	746
3. 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券	※1・3		9,994		7,862	△2,131	
(2) 長期貸付金			906		948	42	
(3) 繰延税金資産			877		2,037	1,160	
(4) その他	※1		2,128		<u>4,417</u>	<u>2,289</u>	
貸倒引当金			△147		△1,005	△858	
投資その他の資産合計			13,758	9.2	<u>14,260</u>	<u>8.9</u>	<u>502</u>
固定資産合計			41,437	27.8	<u>48,267</u>	<u>30.0</u>	<u>6,829</u>
資産合計			149,239	100.0	160,707	100.0	11,468

<訂正後>

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成 19 年 3 月 31 日)		当連結会計年度 (平成 20 年 3 月 31 日)		対前年比 増減 (百万円)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び預金		28,065		18,612		△9,453
2. 受取手形及び売掛金		13,868		12,703		△1,165
3. 営業貸付金		46,591		<u>52,962</u>		<u>6,370</u>
4. 有価証券		1,376		298		△1,078
5. たな卸資産						
(1) たな卸資産		10,298		9,598		△699
(2) 販売用不動産	※1	4,499		<u>1,804</u>		<u>△2,695</u>
(3) 仕掛不動産	※1	—		<u>8,528</u>		<u>8,528</u>
たな卸資産合計		14,798		19,930		5,132
6. 繰延税金資産		878		1,011		132
7. その他		4,010		6,110		2,099
貸倒引当金		△1,789		△2,019		△230
流動資産合計		107,801	72.2	<u>109,610</u>	<u>68.2</u>	<u>1,809</u>
II 固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	※1	17,829		21,041		
減価償却累計額		6,955	10,873	7,671	13,369	2,496
(2) 機械装置及び運搬具		1,073		1,095		
減価償却累計額		826	246	871	224	△22
(3) 器具及び備品		998		1,163		
減価償却累計額		644	354	771	391	37
(4) 土地	※1		13,189		17,604	4,415
(5) 建設仮勘定			1,426		79	△1,346
有形固定資産合計		26,089	17.5	31,670	19.7	5,580
2. 無形固定資産		1,589		2,336		746
無形固定資産合計		1,589	1.1	2,336	1.4	746
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	※1・3	9,994		7,862		△2,131
(2) 長期貸付金		906		948		42
(3) 繰延税金資産		877		2,037		1,160
(4) その他	※1	2,128		<u>7,247</u>		<u>5,119</u>
貸倒引当金		△147		△1,005		△858
投資その他の資産合計		13,758	9.2	<u>17,090</u>	<u>10.7</u>	<u>3,331</u>
固定資産合計		41,437	27.8	<u>51,096</u>	<u>31.8</u>	<u>9,659</u>
資産合計		149,239	100.0	160,707	100.0	11,468

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

<訂正前>

		前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)
区分	注記 番号	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益		12,686	6,077
減価償却費		965	1,105
返品調整引当金減少額		△38	△6
貸倒引当金増加額		289	1,102
商品改修引当金増加額		—	295
賞与引当金増加額 (△減少額)		△1	12
退職給付引当金増加額		23	46
役員退職慰労引当金減少額		△34	△16
ポイント引当金増加額		209	171
利息返還損失引当金増加額		1,156	574
受取利息及び受取配当金		△313	△391
支払利息		222	399
通貨スワップ・オプション評価損益		—	2,091
有価証券売却損益		△76	454
投資有価証券売却益		△403	△127
新株予約権戻入益		△5	—
投資有価証券評価損		368	935
有形固定資産除却損		16	3
売上債権の減少額 (△増加額)		△50	1,125
営業貸付金の増加額		△14,143	△10,055
たな卸資産の増加額		△836	△4,912
その他流動資産の増加額		△897	<u>△2,012</u>
仕入債務の減少額		△398	△2,480
その他流動負債の増加額 (△減少額)		1,314	△1,476
その他固定負債の増加額 (△減少額)		△133	△93
その他 (△減少額)		△221	706
小計		△301	<u>△6,470</u>
利息及び配当金の受取額		314	390
利息の支払額		△218	△408
法人税等の支払額		△5,759	<u>△6,030</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー		△5,964	△12,519

<訂正後>

		前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
区分	注記 番号	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益		12,686	6,077
減価償却費		965	1,105
返品調整引当金減少額		△38	△6
貸倒引当金増加額		289	1,102
商品改修引当金増加額		—	295
賞与引当金増加額 (△減少額)		△1	12
退職給付引当金増加額		23	46
役員退職慰労引当金減少額		△34	△16
ポイント引当金増加額		209	171
利息返還損失引当金増加額		1,156	574
受取利息及び受取配当金		△313	△391
支払利息		222	399
通貨スワップ・オプション評価損		—	2,091
有価証券売却損益		△76	454
投資有価証券売却益		△403	△127
新株予約権戻入益		△5	—
投資有価証券評価損		368	935
有形固定資産除却損		16	3
売上債権の減少額 (△増加額)		△50	1,125
営業貸付金の増加額		△14,143	△10,055
たな卸資産の増加額		△836	△4,912
その他流動資産の増加額		△897	<u>△2,003</u>
仕入債務の減少額		△398	△2,480
その他流動負債の増加額 (△減少額)		1,314	△1,476
その他固定負債の増加額 (△減少額)		△133	△93
その他 (△減少額)		△221	706
小計		△301	<u>△6,461</u>
利息及び配当金の受取額		314	390
利息の支払額		△218	△408
法人税等の支払額		△5,759	<u>△6,039</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー		△5,964	△12,519

注記事項

(連結貸借対照表関係)

<訂正前>

前連結会計年度 (平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (平成 20 年 3 月 31 日)
※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産	※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産
販売用不動産 4,274	販売用不動産 <u>3,746</u>
建物及び構築物 6,587	建物及び構築物 7,334
土地 8,357	土地 11,121
計 19,219	計 22,203

<訂正後>

前連結会計年度 (平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (平成 20 年 3 月 31 日)
※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産	※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産
販売用不動産 4,274	販売用不動産 <u>1,095</u>
建物及び構築物 6,587	<u>仕掛不動産</u> 2,651
土地 8,357	建物及び構築物 7,334
計 19,219	土地 11,121
	計 22,203

Ⅱ. 平成 20 年 5 月 2 日発表 平成 20 年 3 月期 決算短信

・ 2 3 ページ

表示方法の変更

<訂正前>

前連結会計年度 ( 自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日 )	当連結会計年度 ( 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日 )
<p>(連結貸借対照表関係)</p> <p>1. 販売用不動産に係る表示方法の変更 前連結会計年度まで流動資産「たな卸資産」に含めて表示しておりました「販売用不動産」については、当連結会計年度において、その重要性が高まったため、「たな卸資産」の内訳科目として区分掲記することといたしました。なお、前連結会計年度の流動資産「たな卸資産」に含まれている「販売用不動産」の金額は 456 百万円であります。</p> <p>2. 出資金に係る表示方法の変更 前連結会計年度まで区分掲記しておりました投資その他の資産「出資金」は、金額に重要性がなくなったため投資その他の資産の「その他」に含めて表示しております。 なお、当連結会計年度の「その他」に含まれている「出資金」は 1 百万円であります。</p>	<hr style="width: 20%; margin: auto;"/>

<訂正後>

前連結会計年度 ( 自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日 )	当連結会計年度 ( 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日 )
<p>(連結貸借対照表関係)</p> <p>1. 販売用不動産に係る表示方法の変更 前連結会計年度まで流動資産「たな卸資産」に含めて表示しておりました「販売用不動産」については、当連結会計年度において、その重要性が高まったため、「たな卸資産」の内訳科目として区分掲記することといたしました。なお、前連結会計年度の流動資産「たな卸資産」に含まれている「販売用不動産」の金額は 456 百万円であります。</p> <p>2. 出資金に係る表示方法の変更 前連結会計年度まで区分掲記しておりました投資その他の資産「出資金」は、金額に重要性がなくなったため投資その他の資産の「その他」に含めて表示しております。 なお、当連結会計年度の「その他」に含まれている「出資金」は 1 百万円であります。</p>	<p><u>(連結貸借対照表関係)</u></p> <p><u>1. 仕掛不動産に係る表示方法の変更</u> <u>前連結会計年度まで流動資産「販売用不動産」に含めて表示しておりました「仕掛不動産」については、当連結会計年度において、その重要性が高まったため、「たな卸資産」の内訳科目として区分掲記することといたしました。なお、前連結会計年度の流動資産「販売用不動産」に含まれている「仕掛不動産」の金額は 2,271 百万円であります。</u></p>

以 上